



2014年度
決算説明資料
2015年 5月11日

株式会社UACJ

1. 2014年度通期業績

2. 2015年度通期業績見通し

3. 中期経営計画の進捗状況

1. 2014年度通期業績

前年同期比で売上高376億円増、経常利益は前年並み

- アルミ板販売量は減少したものの、為替や地金価格の影響等により、売上高は増加
- 統合効果をはじめとする着実なコストダウンを進めているが、タイ工場立ち上げや、電力・燃料単価の影響等によりコストも上昇。
- ローガン工場設備故障により損益は悪化したものの、地金価格の上昇に伴う棚卸評価関係の影響等もあり、経常利益は前年並みを確保。

期末配当 3円／株

- 期末配当は、当初計画通り、3円／株を予定
(中間配当3円／株、年間合計6円／株)

2014年度 通期業績



(単位：億円)

	2013年度 (旧両社上期合算*1 + UACJ 下期) (A)	2014年度 (B)	増 減 (B) - (A)
連 結 売 上 高	5,349	5,725	376
連 結 営 業 利 益	250	237	△13
連 結 経 常 利 益	215	213	△2
連 結 当 期 純 利 益	117	86	△31
E B I T D A * 2	499	488	△11

*1 旧両社合算 … 旧古河スカイと旧住友軽金属工業の合算（TAAHは持分法適用会社から連結子会社に単純組替）

*2 EBITDA … 営業利益+減価償却費（のれん償却費を含む）

セグメント別 売上高・営業利益



(単位：億円)

	2013年度 (旧両社上期合算 + UACJ 下期) (A)		2014年度 (B)		増 減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	4,201	252	4,519	233	318	△19
伸銅品	479	8	506	10	27	2
加工品・関連事業	1,478	40	1,616	46	138	6
(調整額)	△809	△50	△916	△52	△107	△2
合 計	5,349	250	5,725	237	376	△13

連結経常損益分析

(2013年度 旧両社上期合算 + UACJ下期 → 2014年度)

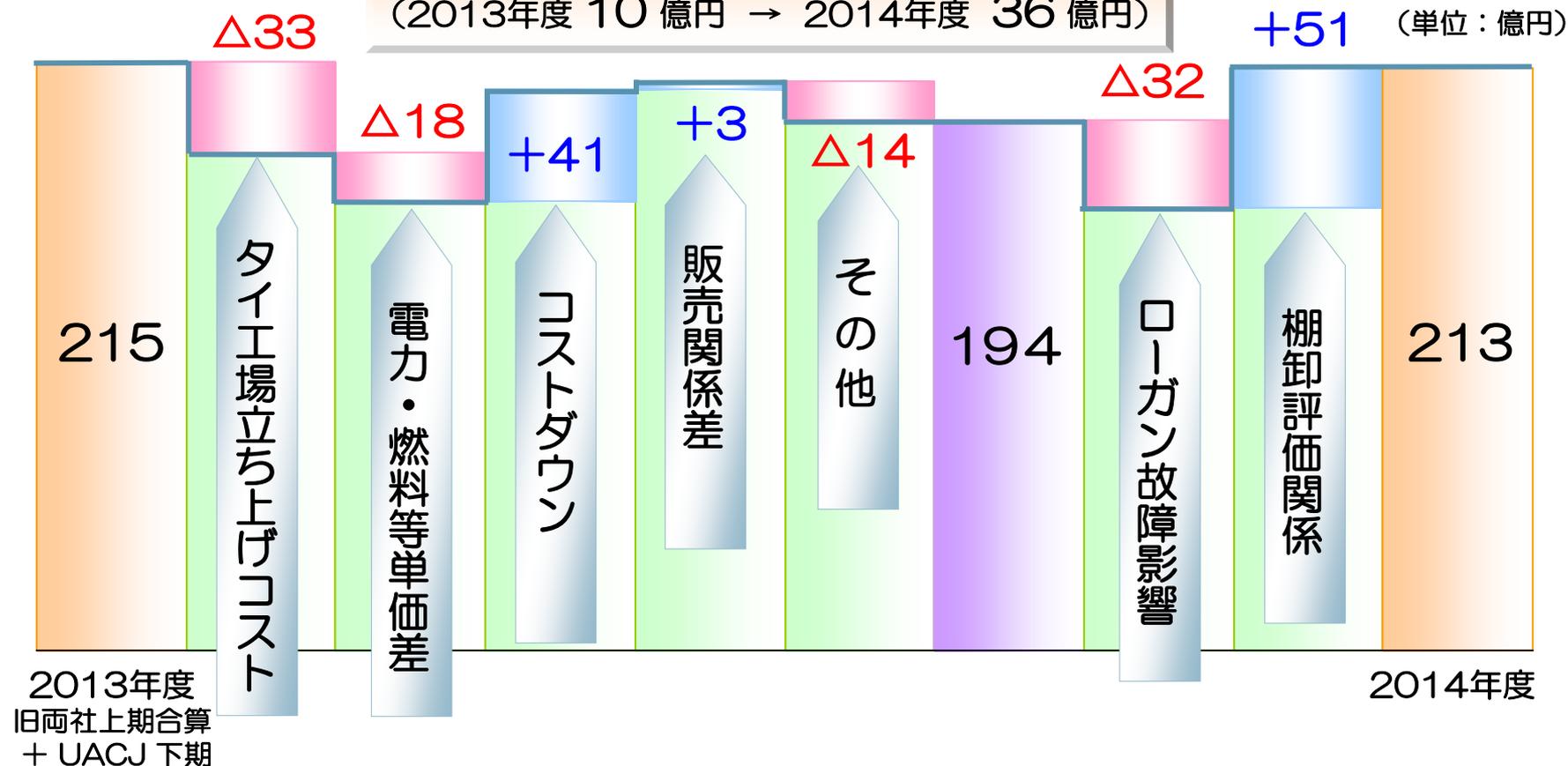


215 億円 (2013年度 旧両社上期合算 + UACJ下期)

→ 213 億円 (2014年度)

統合効果差 +26 億円を含む

(2013年度 10 億円 → 2014年度 36 億円)



アルミ板 品種別売上数量



(単位:千トン)

品 種	2013年度 (旧両社上期合算 + UACJ 下期) (A)	2014年度 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	633	607	△26
箔 地	48	48	0
I T	20	28	8
自 動 車	68	65	△3
厚 板	38	48	10
その他一般材	153	159	6
合 計	960	955	△5
	(国内市場向け 524 海外市場向け 436)	(国内市場向け 516 海外市場向け 439)	(国内市場向け △8 海外市場向け 3)

原油 CIF
(円/L)

LNG CIF
(円/Kg)



— LNG CIF (円/Kg) - - - - 原油CIF (円/L)

(円/Kg)



— アルミ日経市況 アルミ基準地金

	2014/3末	2015/3末
自己資本（億円）	1,555	1,723
自己資本比率（％）	25.6	25.4
有利子負債（億円）	2,563	2,960
D/Eレシオ（倍）	1.65	1.72
R O E （ ％ ）	*7.7	5.3

* 旧両社上期合算＋UACJ下期

2. 2015年度通期業績見通し

通期業績見通し 売上高6,400億円、 経常利益230億円

- 棚卸評価関係および、タイ工場の一貫生産開始に伴う立ち上げコストの負担増加により損益悪化。
- 一方、前期のローガン工場設備故障の悪化影響がほぼ終息し、統合効果をはじめとするコストダウンの実現、および販売数量の増加等により、経常利益230億円を見込む。

配当年間 6円／株を予定

- 安定配当の観点から、配当は年間6円／株を予定
(中間配当3円／株、期末配当3円／株)

2015年度 通期業績見通し

(単位：億円)

	2014年度 (A)	2015年度見通し (B)	増 減 (B) - (A)
連 結 売 上 高	5,725	6,400	675
連 結 営 業 利 益	237	265	28
連 結 経 常 利 益	213	230	17
連 結 当 期 純 利 益*	86	110	24
E B I T D A	488	538	50

諸元（2015年度）：アルミ地金日経平均 295円/kg，為替 115円/US\$，原油 60US\$/B

* 連結当期純利益… 親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別 売上高・営業利益見通し



(単位：億円)

	2014年度 (A)		2015年度 見通し (B)		増 減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	4,519	233	5,004	270	485	37
伸銅品	506	10	579	14	73	4
加工品・関連事業	1,616	46	1,796	44	180	△2
(調整額)	△916	△52	△979	△63	△63	△11
合 計	5,725	237	6,400	265	675	28

連結経常損益分析

(2014年度 → 2015年度見通し)

213 億円 (2014年度) → 230 億円 (2015年度見通し)

統合効果差 +44 億円を含む

(2014年度 36 億円 → 2015年度見通し 80 億円)



アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2014年度 (A)	2015年度 見通し (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	607	637	30
箔 地	48	50	2
I T	28	26	△2
自 動 車	65	76	11
厚 板	48	70	22
その他一般材	159	154	△5
合 計	955	1,013	58
	(国内市場向け 516 海外市場向け 439)	(国内市場向け 514 海外市場向け 499)	(国内市場向け △2 海外市場向け 60)

(単位:億円)

		2014年度	2015年度 見通し
設備投資	一般投資	120	120
	戦略投資	345	280
	合計	465	400
減価償却費		218	237
戦略投融资		38	未定

3. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画「Global Step I」の重点方針

- 1 自動車を中心とした輸送分野、エネルギー分野などの成長製品の拡大とアジアを中心とした成長地域の事業強化
- 2 各事業の最適生産体制の構築および技術融合の推進
- 3 先端基礎研究の強化と豊富な蓄積技術の活用による新技術・新製品の開発

実施に向けた具体的な方針

将来ビジョンの重点方針

- 新規成長分野・成長市場への積極的なグローバル展開
- 事業再構築によるコスト競争力の強化
- 新技術・新製品の開発の推進

一貫生産体制の確立に向け、第2期工事を順調に推進中

一貫生産体制の確立

- 2015年に鋳造～熱間圧延工程を立ち上げ、一貫生産体制を確立
- 2015年秋にはグラウンドオープンセレモニーを開催
- 2017年までに年間20万tの供給体制確立

競争力強化による差別化

- 高品質と低コストの両立するアジアにおけるアルミニウム板製造の基幹工場
- 製造、販売、研究開発一体で市場にアプローチ

アジア最高レベルの生産拠点への推進

- 年間30万tの生産体制実現への投資検討
- 利益を最大化する最適なプロダクトミックスの検討

東南アジアおよびその周辺地域
 (中国、韓国、日本除く) 需給見通し

(当社推定による)



UATH 生産数量推移





ラヨン製造所 工場全景



量産が進んでいる缶材



調整中の溶解炉



試験製造中のスラブ



建設中の熱間圧延機



建設中の4スタンド
仕上圧延機

メキシコ・・・金属自動車部品

- 2015年4月30日にIWAI METAL CENTRAL MEXICO, S.A. DE C.V.が開業式を開催。
- メキシコで高まる自動車部品需要に応えるため、プレス、溶接、組立などを中心とした高精度・高品質な金属自動車部品を供給。



欧州・・・自動車用熱交換器材料（2015年4月28日発表）

- 自動車の主要市場である欧州の自動車用熱交換器材料需要に対応し、ELVALとの間で新会社設立を検討開始。
- UACJブランドで欧州に販売し、高品質で競争力のある製品を提供していく計画。

米国・・・自動車パネル用アルミニウム

- 米国での自動車パネル用アルミニウム材事業については、2016年度操業開始に向けて順調に工場建設を推進中。



国内製造拠点の品種集約化の実施（2016年度完了目標）

【各製造拠点の位置づけ】

- 〈福 井〉 缶材とLNG船用厚板主体の基幹工場
- 〈名古屋〉 自動車材、印刷版用板材、フィン材の基幹工場
- 〈深 谷〉 厚板主体の基幹工場
- 〈日 光〉 精密特殊材主体の仕上専門工場

進捗率（%）



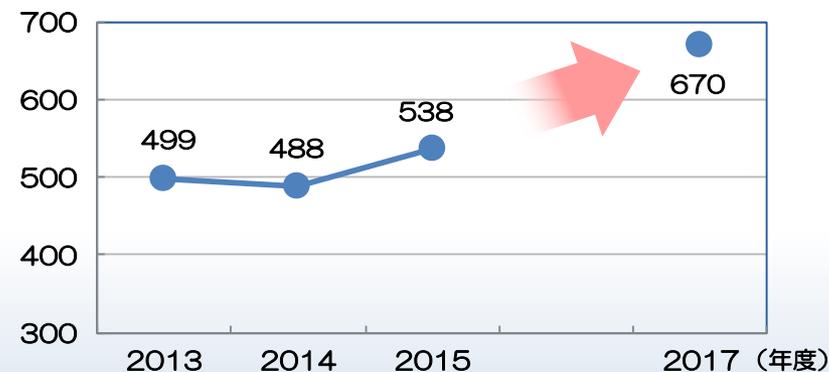
- 2016年度完了目標に対し、計画通り進捗
- 主な移管完了品種
 - ・キャップ材
 - ・フィン材の一部 など
- 移管完了に伴う設備休止実施
 - ・日光製造所
 - キャップ材表面処理ライン

主要経営管理指標の進捗状況

経常利益（億円）



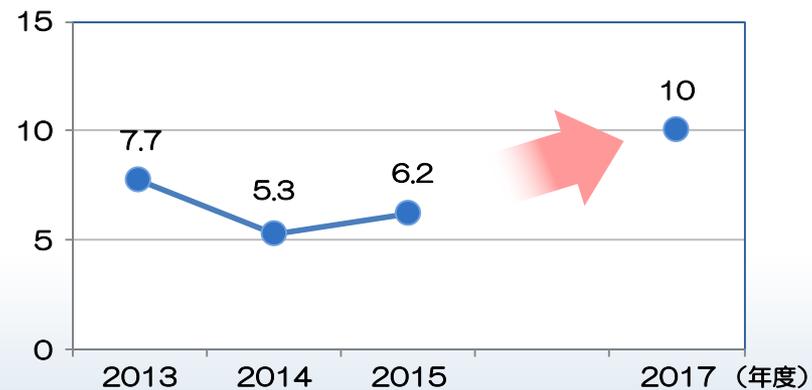
EBITDA（億円）



D/Eレシオ（倍）



ROE（%）



将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報IR部 TEL : 03-6202-2654 FAX : 03-6202-2021

URL : <http://www.uacj.co.jp>

(東証1部 コード番号 : 5741)